（社）大口町コミュニティー・ワークセンター

きんもくせい

Vol.21　　平成22年元旦

新年のあいさつ

社団法人
大口町コミュニティー・
ワークセンター
会　長

楠　靖　男

新年あけましておめでとうございます。

皆様お揃いで、おだやかな正月をお迎えのことと存じます。

会員の皆様方におかれましては、日頃よりワークセンターの事業運営に格別なるご理解、ご支援を賜りまして誠にありがとうございます。

ワークセンターは、時代の要請に応えるべく「自主・自立・共働・共助」の理念のもとに長年にわたり事業を展開し、地域社会にとってかけがえのない存在になっていることと自負しております。又、就業を通じて地域社会の一員として生きがいを実現し、健康の維持・増進を図ることにより医療・介護財政の軽減にも寄与しているものと考えております。

しかしながら、昨今の経済情勢を反映して仕事量の減少などセンターを取り巻く状況は非常に厳しいものとなっております。

本年は従来以上に営業に力をいれていく所存ではありますが、これまで以上にワークシェアリングも進めていかなければならないと考えております。

それに加えて、昨年11月の行政刷新会議の事業仕分けにおいても「シルバー人材センター援助事業」が対象となり、平成22年度予算要求の1／3程度を縮減するコメントが示されております。

今後ますます少子高齢化が進む中、2013年には4人に1人が高齢者となり、2017年には440万人の労働力が不足すると推測されています。今後、進展する高齢者社会においては、センターに求められる役割はますます重要なものになってくると思います。

現在の難局を乗りきるために、会員皆様方及び役職員が一丸となって創意・工夫・改善などを通じて益々信頼されるセンターを目指してまいりたいと思いますのでご協力の程よろしくお願い申し上げます。

結びにあたり、会員の皆様方におかれましては本年のより一層のご健勝とご活躍を心よりご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

大口町長

森　進

新年明けましておめでとうございます。

皆様ご壮健で、良き新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

大口町コミュニティー・ワークセンターの皆様におかれましては、顧客にニーズに応えるべく、真摯に業務に取り組まれ、また昨年11月にはホームページを開設するなど、受注拡大に向けて積極的な活動を展開しておられますことに、心からの敬意を表します。

さて皆様、すでにご承知のことと存じますが、昨年6月に大口町まちづくり基本条例を施行いたしました。まちの憲法ともいうべき条例です。

本町は、勤勉な人々や他に誇れる素晴らしい企業に支えられ、今日があります。比較的裕福なまちとして知られておりますが、少子高齢化に代表される社会構造の変化や景気の変動など、この時代の大きなうねりの先に、これまでのような豊かさがある保証はありません。先人より引き継いだ財産をよりよい形で後世に残せるよう、まちづくり基本条例を規範として、一丸となって努力する必要があります。

そうした中で、本町には、町独自のNPO団体が34団体、そのうち7団体は愛知県の認証も受け、広く地域のためにご活躍をいただいており、「人」という財産にも恵まれていることを強く実感しております。

それぞれが知恵を出し、汗を流しながら、まちづくりを進めたいと考えております。ワークセンターの皆様におかれましては、これまで培ってこられた経験を生かし、引き続き、町の発展にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、大口町コミュニティー・ワークセンターのますますのご発展と会員の皆様が健康で幸多き一年をお過ごしになりますことを祈念し、念頭のあいさつといたします。

きんもくせいニュース

１１月７日（土）
ふれあいまつり２００９にて

１１月７日（土）大口町ふれあいまつり２００９が開催されました。
ワークセンターのカフェ「きんもくせい」も出店し、手作り料理である漬け物・いなり寿司・から揚げ、おにぎりセットの販売をいたしました。
当日は天候にも恵まれ、たくさんのお客様が集まり大好評でした。お客様からは「おいしい！」という言葉もいただき、充実した１日でした。
カフェ「きんもくせい」では、お客様に喜んでもらえるように努力してまいりますのでこれからもよろしくお願いいたします。

カフェ　きんもくせい　より

今年のふれあいまつりも、天気に恵まれ町内の皆様が大勢お出掛けになり、私たちシルバーの会員も早朝より出て手作りの料理、いなり寿司、漬け物、から揚げ、おにぎりセットなど出店させていただき、おかげさまで大好評で大変喜んでおります。
来年も今年以上のメニューを用意することを会員で話し合いました。
カフェ「きんもくせい」では、月・水・金に豆腐、野菜を主としたメニューでランチを用意してお待ちしております。火・木はコーヒーなどのドリンクです。
皆様と笑いのある店になる様、頑張っております。御来店、お待ちしております。

就業会員より

えいごであそぼっ！

イングリッシュキンダークラブ

10月29日（木）
ハロウィン・パーティー

12月22日（火）
クリスマス・パーティー

曜　日	時　　間	コ　ー　ス		対　象
火曜日	PM　4:30～ 5:15	ひよこコースB	小学校低学年＋2年目	4才～9才
木曜日	AM 10:00～10:45	たまごコース	お母さんと一緒に参加	2才～
	PM　4:30～ 5:15	ひよこコースA	一　人　で 参　加	3才～6才

☆　英語の歌あそびをたっぷりと！英語が好きになる！
☆　お話のなかで英語を体験！こころが育ちます！
☆　たまごコースでは、子育て中のお母さんを応援するプログラム！
☆　ひよこコースでは、お母さんと離れて参加するプログラム！

子どもたちの気持ちを受け止め、理解し、子どもたちが安心して英語に親しみ、自分を表現できるようにします。

ワークセンターの話題

ホームページを開設しました！

「大口町コミュニティー・ワークセンター」で検索するか

ここに http://homepage3.nifty.com/oguchi-cwc/ を入力！

ホームページを平成２１年１１月１６日開設しました。
今後は求人情報など、いち早く情報を掲示していきますので、ご家庭などでインターネットができる方はぜひご覧下さい。
事務局でも閲覧場所を設けさせていただきましたので、興味のある方は事務局までお越し下さい。

襖・障子・網戸の張替えを行っております。

詳しくはセンターまで！

親切･丁寧に仕上げます！

張替え前

張替え後

作 業 風 景

お客さまの声

襖の張替えします！という大口町コミュニティー・ワークセンターのチラシに目が止まり、さっそく電話致しました。

対応の速さと親切な説明に納得し、すぐお願いすることにしました。

素晴らしい出来上がりに感心し、尋ねましたら以前はこの仕事に携わってみえたということをお聞きし、自身を持って友人にも紹介しました。

お陰で我家は何十年振りかに衣替えをした明るい部屋で新年を迎えることが出来そうです。ありがとうございました。

大屋敷地区　Mさん

会 員 紹 介 運 動

ワークセンターでは、特に剪定や除草・草刈作業のできる方・その他にも自身の特技を生かしたいとお思いの方を募集しております。興味のある方がございましたら、ご紹介していただきますよう宜しくお願いいたします。

新型インフルエンザの予防と対策

☆新型インフルエンザはどのように感染するのですか?

通常のインフルエンザの主な感染経路は、飛沫感染と接触感染です。

飛沫感染・・感染した人の咳、くしゃみ、つばなどの飛沫とともに放出されたウイルスを健康な人が吸入することによって感染します。

接触感染・・感染した人がくしゃみや咳を手で抑えた後や、鼻水を手でぬぐった後に、机やドアノブ、スイッチなどに触れると、その触れた場所にウイルスが付着しますが、その付着したウイルスに健康な人が手で触れ、その手で目や鼻、口に再び触れることにより、粘膜・結膜などを通じてウイルスが体の中に入り感染します。

☆新型インフルエンザの予防法は?

新型インフルエンザの予防には、通常のインフルエンザに対する次のような取組を習慣づけておくことが重要です。

◆咳、くしゃみの際は、ティッシュ等で口と鼻を被い、他の人から顔をそらすこと。

◆使ったティッシュは、直ちにゴミ箱に捨てること。

◆咳やくしゃみ等の症状のある人には必ずマスクを着けてもらうこと。

◆咳やくしゃみをおさえた手、鼻をかんだ手は直ちに洗うこと。

また、次の点についても心がけてください。

◆帰宅後や不特定多数の者が触るようなものに触れた後の手洗い・うがいを日常的におこなうこと。

◆手洗いは、石鹸を用いて最低１５秒以上行うことが望ましく、洗った後は、清潔な布やペーパータオル等で水を十分に拭き取ること。

◆感染者の２メートル以内に近づかないようにすること。

◆流行地への渡航、人混みや繁華街への不要不急な外出は控えること。

◆十分に休養をとり、体力や抵抗力を高め、日頃からバランスよく栄養をとり、規則的な生活をし、感染しにくい状態を保つこと。

会 員 の 広 場

ワークセンター事務所前に新しく看板設置！

平成二十一年十月二十三日（金）念願であったワークセンターの看板が設置されました。

看板の材料については、株式会社東海木材相互市場より寄贈を受けた国産の杉板を使用しています。

看板の文字は、文字下書き・杉板の裁断・表面仕上げ・掘りこみ・塗装仕上げにいたるまで会員三名が携わり、看板の製作を行いました。

これで、ワークセンターの認知度が高まり、少しでも多くの方々に利用していただける建物になることを願っております。

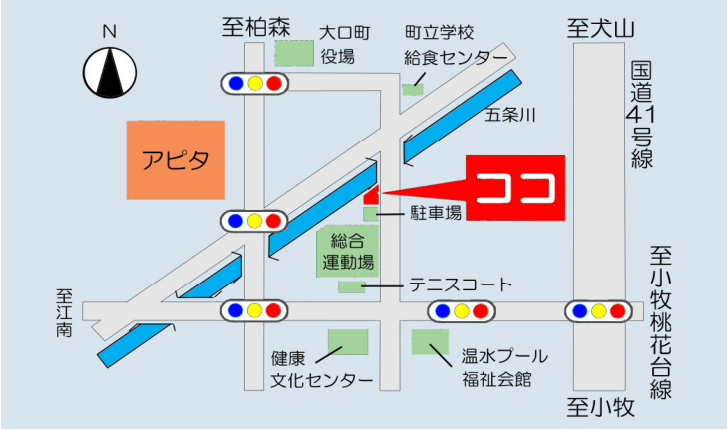
編集後記

戦後６０年余、自民党に変わり民主党が政権の座に着き、いろいろなマニフェストの実行に期待をしつつはや３ヶ月たちましたが、なかなか思うようには変革できない。

鳩山内閣の指導力不足が取りざたされリーマンショックの後遺症でなかなか経済も良くならない昨今ですが、来年こそよりよい年が始まりますよう願いつつ新年を迎えたいと思います。

表紙写真説明

会員一泊研修旅行にて（９月８日　室堂平）

社団法人
大口町コミュニティー・ワークセンター

〒４８０－０１４４
丹羽郡大口町下小口六丁目４８番地１
ＴＥＬ＜０５８７＞　９５－８１０１
ＦＡＸ＜０５８７＞　９４－２５１１
E-mail：o-silverjp@nifty.com